

13 次世代施設園芸の地域展開の促進

【2,540(2,008)百万円】

対策のポイント

次世代施設園芸拠点で得られた知見を活用し、次世代施設園芸を各地域に展開するため、拠点の成果に関するセミナー等の情報発信、拠点における実践的な研修等の人材育成を支援するとともに、次世代型大規模園芸施設の整備を支援します。

<背景/課題>

- ・我が国の施設園芸を次世代に向かって発展させるため、化石燃料依存からの脱却を目指して地域資源エネルギーやICT等の先端技術を活用する大規模な次世代施設園芸における取組を各地域に展開していくことが必要です。
- ・また、高度な環境制御技術による周年・計画生産を実践できる人材の育成が必要です。

政策目標

周年・計画生産を行うことができる複合環境制御装置を導入した園芸施設の面積を10年間で3割増加

<主な内容>

1. 次世代施設園芸地域展開促進事業 1,040(2,008)百万円

(1) 次世代施設園芸地域展開促進事業

次世代施設園芸拠点の成果に関するセミナー等の情報発信、次世代施設園芸拠点等を活用した研修等の人材育成、取組意向のある地域における計画策定等を支援します。

(2) 次世代施設園芸導入加速化支援事業

継続地区の次世代施設園芸拠点について、中核施設となる高度な環境制御を行う温室等の整備、生産コスト縮減のための新技術実証等を支援します。

補助率：定額、1/2
事業実施主体：民間企業・生産者・地方自治体等から構成されるコンソーシアム等

2. 強い農業づくり交付金（優先枠） 1,500(―)百万円

次世代施設園芸拠点における取組を参考に、地域エネルギーと先端技術を活用した大規模な高度環境制御型栽培施設や集出荷貯蔵施設等の整備について、優先枠を設置することにより、積極的に支援します。

交付率：都道府県への交付率は定額（事業実施主体へは事業費の1/2以内等）
事業実施主体：都道府県、市町村、農業者団体等

お問い合わせ先：
生産局園芸作物課花き産業・施設園芸振興室 (03-3593-6496)

次世代施設園芸の地域展開の促進

【平成28年度予算概算決定額 2,540(2,008)百万円】

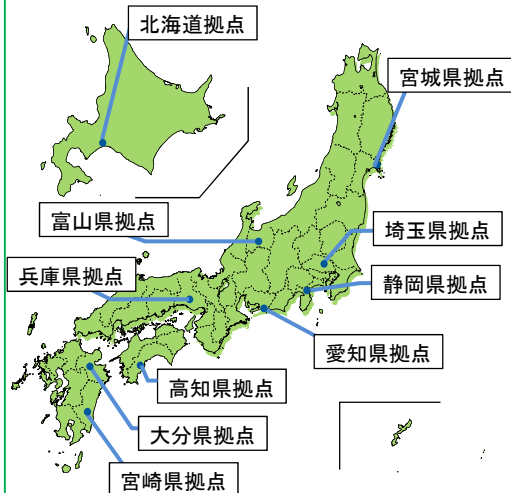
次世代施設園芸拠点 で得られた知見

ICTを活用した
高度な栽培技術

木質バイオマス等の
地域資源利用のノウハウ

実需者との連携による
安定的な販路の確保

次世代施設園芸拠点 (全国10箇所)



次世代施設園芸を地域に展開

次世代施設園芸地域展開促進事業【1,040百万円】

- 拠点で得られた知見を速やかに普及するため、
 - ① 次世代施設園芸拠点の成果に関する **セミナー等による情報発信**
 - ② 次世代施設園芸拠点を活用した実践的な **研修等による人材育成**等を支援。

【事業実施主体】次世代施設園芸拠点のコンソーシアム、民間団体等
【支援対象者】次世代施設園芸に関心を有する者

- 次世代施設園芸に取り組意向のある地域の **事業計画策定を支援**するため、**手引きの作成や専門家によるアドバイス**等を実施。

【事業実施主体】民間団体等
【支援対象者】次世代施設園芸の整備を目指すグループ
(都道府県、生産者、実需者の参画を必須)

- 次世代施設園芸拠点の継続地区の整備等を支援。



強い農業づくり交付金(優先枠)【1,500百万円】

次世代施設園芸拠点における取組を参考に、**地域エネルギーと先端技術**を活用した**次世代型大規模園芸施設の整備**を支援

【事業実施主体】都道府県、市町村、農業者団体等
※生産者・実需者・地方自治体等から構成されるコンソーシアムの設置を要件とする。



地域の所得向上と雇用創出を実現！

